

立川市民科ブックレット

「古道を歩く」発行にあたって

突然ですが、立川に全国で46箇所しかない国宝¹の一つがあるのをご存じですか。

また市内に古墳²の可能性の高い塚が3つあると言われており、一つは現存していると聞くと、驚く方も多いのではないのでしょうか。

「立川市民科」は立川を知るだけではなく、立川に関わり、体験をして、立川のこれからについて考えます。

その一環として、令和元年10月8日・15日・29日に開催されました立川市民科講座「古道を歩く～羽衣・錦・柴崎・富士見界限～」を刊行します。

立川の歴史で知られていない時代、語る人が少なくなった歴史については、こういった冊子、DVD³で残し未来に引き継いでいきます。

この本は、森 信保講師が講座用に作成したものを1冊にまとめたものです。

市民科ブックレットは、郷土の歴史を知る資料として、皆様の学習に役立てていただきたく、これからも機会あるごとに発行していきたいと思えます。

最後に、発行にあたり、森講師をはじめ、ご協力くださいましたみなさまのご尽力に、心から御礼申し上げます。

令和2年10月

立川市生涯学習推進センター

¹ 国が指定する文化財のうち、種別として、“有形文化財の考古資料”

国宝自体は、建造物や絵画、彫刻、工芸品などたくさんあります。

² 盛土をした古代の墳墓

³ 立川市図書館でDVD付き「古道を歩く」所蔵